

平成 29 年度～平成 33 年度

(2017 年～2021 年)

空知教育センター

事業推進 5 年計画

事業推進テーマ

知識が知恵に変わるところ 空知教育センター

研修活動

研究活動

情報発信活動

空知教育センター組合

空知教育センター組合教育委員会

目 次

I 空知教育センター事業推進5か年計画の策定にあたって

- 1. 趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 計画策定の手順と記述内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

II 空知教育センター事業推進5か年計画

- 1. 事業推進テーマ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2. 事業推進の基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3. 事業推進の重点と事業内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
 - 重点1.・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
 - 重点2.・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - 重点3.・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 4. 事業推進5か年計画全体構造図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 5. 研修講座・課題研究全体構造図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 6. (参考資料)事業推進計画策定アンケート調査集計結果・・・・・・・・・・・・ 7

I 空知教育センター事業推進5か年計画の策定にあたって

1. 趣旨

空知教育センターでは、単年度ごとの事業実施計画の作成とともに、時代の流れや教育の今日的な動向に目を向け、3か年ごとに中・長期的な視点から、事業推進のための計画を策定してまいりました。平成28年度は、この計画の最終年度となっていることから、策定にあたっては、期間を見直し、平成29年度から33年度までの5か年の事業推進計画としました。

また、空知教育センター組合格約※1に示されている設置目的に適う事業活動として、次の3点を重点としました。

重点1. 「実践的指導力の向上に資する研修活動」

重点2. 「今日的な教育課題の解明と主体的に活動するリーダーの育成に資する研究活動」

重点3. 「教育活動の充実に資する情報発信活動」

以上、この重点に具体的な事業を盛り込み、空知教育センター事業推進5か年計画としたところです。

2. 計画策定の手順と記述内容

策定の手順と記述内容については、次のとおりです。

◇手順

- ①管内市町教育委員会、小中学校、教育研究関係団体※2を対象に「アンケート調査」を行い、教育の動向を反映した教育課題の解明や教職員のニーズに沿った計画としました。
- ②これまでの研修・研究事業の実施に係る検証や反省を基に検討し、計画に反映させました。

◇記述内容

- ①重点項目に係る目標指標を、数値として新たに設けました。
- ②本計画の記述中、関係する法令や教育に関する用語等について、解説欄を下段に設けました。

※1 空知教育センター規約(抄):第1条 この規約は、空知総合振興局所管区域内(以下「空知管内」という。)の市町が共同して教職員の研修及び研修に係る調査研究の実施並びに教育の理論と実践に係る研究を行うため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条の規定に基づく教育機関としての施設を共同して設置し、管理するために必要な事項を定めることを目的とする。

【参考】教育公務員特例法(抄):第21条 教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。
第22条 教育公務員には、研修を受ける機会が与えられなければならない。

※2 教育研究関係団体:教職員個々が、教科や分野における専門性を活かすために自発的に集い、主体的に研修を深めるための組織であります。空知管内には、29の団体が活動しております。

【参考】教科としては、国語、算数数学、社会、理科、英語、音楽、美術などがあり教科の種類ごとに団体が構成されています。
分野としては、作文、学校図書館、生徒指導、へき地複式、障がい児、国際理解などの団体が構成されています。

II 空知教育センター事業推進5か年計画

1. 事業推進テーマ

知識が知恵に変わるところ 空知教育センター

「知識」は、実際に活用される「知恵」となっただけでこそ価値が生まれるものです。使われない知識は、持たないことと同義であると言ってよく、教職員に課せられている研修は、自らの意志で知識を主体的に学び、子どもたちのために活用できる知恵として身に付けることにほかなりません。

学習の主体者が子どもであるように、研修・研究の主体者は教職員でなければなりません。

空知教育センターは、教職員が自信をもって子どもたちの前に立てるための、知識が知恵に変わるところであります。

2. 事業推進の基本方針

- ▶ 未来に輝き、活躍する子どもたちに「生きる力」を育ませるための三要素として、「確かな学力」の育成、「豊かな心」の育成、「健やかな体」の育成とともに、いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題への対応、特別支援教育の充実及び ICT の活用※3 の6点を、取り組む課題として押さえ事業の推進を図ります。 ▶

3. 事業推進の重点と事業内容

- ▶ 基本方針とした6つの課題について、その達成に必要とする資質、能力を身に付け、さらにその向上に資するための研修活動、研究活動及び情報発信活動を、3つの重点として位置づけ、事業の実施に努めます。 ▶

重点1. 実践的指導力の向上に資する研修活動

児童生徒の人格形成に大きな影響を与える教職員には、教科等に関する専門知識や、広く豊かな教養、そしてこれらを基礎とした普遍的な指導力が強く求められています。空知教育センターは、学校教育の直接の担い手である教職員の実践的な指導力の向上に資するため、次の事業を実施します。

※3 ICTの活用:学習指導要領では、ICTの活用は教師による活用と児童生徒による活用に区分されている。

教師による活用とは、授業のねらいを示したり、学習課題への興味関心を高めたり、学習内容をわかりやすく説明したりするための指導方法の一つとして、ICT(例:実物投影機、電子黒板、デジタル教科書)を使用することです。

児童生徒の活用とは、情報端末を用いて繰り返し学習を行うなど、個に応じた補充・発展が行われることにより、知識の定着や技能の習熟を図り、基礎基本の習得につながる活動を行います。

	事業内容
①	【継続】専門職として高度な知識・技能の向上と実践的指導力の強化を目指す、指導実技講座・ICT活用講座・教職教養講座・課題研究講座・連携講座の実施
②	【新規】教育界の先進的な研究・実践などに実績の高い人材を講師として招聘する「特別講座」の実施
③	【新規】道内他地区研修センター講座、道内教育研究大会への参加派遣



目標指標・・・∞・・・∞

項目	平成 28 年度実績	平成 33 年度目標
研修講座の参加予定数に対する参加率	83.5 %	91.9 %
研修講座への管内教職員数に対する参加率	15.0 %	16.5 %

重点 2. 今日的な課題の解明と主体的に活動するリーダーの育成に資する研究活動

教育に関する今日的課題の解明に向けた先進的な取り組みを進めるとともに、積極的に教職員の得意分野づくりや個性の伸長を図り、学校という組織全体の充実に資する人材の育成が強く求められています。空知教育センターは、学校教育の課題解明と管内教育のリーダーとなる教職員の育成に資するため、次の事業を実施します。

	事業内容
①	【継続】課題研究に係る授業公開講座の開催と研究成果の発信
②	【新規】課題研究テーマ ※ 4 の、単年度複数化による課題研究委員会活動の拡充
③	【新規】課題研究協力員の道内教育研究大会等への参加派遣



目標指標・・・∞・・・∞

項目	平成 28 年度実績	平成 33 年度目標
課題研究テーマの拡充	単年度 1 テーマ	単年度 2 テーマ

※4 課題研究テーマ：学校教育の課題解明と管内教育のリーダーとなる教職員の育成を図るため、研究のテーマを設定して研究理論や授業実践により探求する基本的な題目。

【参考】平成 23～24 年度 課題研究テーマ「確かな学力」の育成を図る学習指導の在り方～思考力、判断力、表現力等を育む言語活動の充実

平成 25～26 年度 課題研究テーマ「豊かな心」を育む道德教育の在り方～言語活動を充実させた道德教育の時間

平成 27～28 年度 課題研究テーマ「確かな学力」の育成を図る学習指導の在り方～学習の見通しを持たせ、協同的に課題解決を図る指導過程の工夫

重点3. 教育活動の充実に資する情報発信活動

研修活動及び研究活動の進展状況や成果の発信とともに、ネットワーク機能を活かした情報発信機関としての役割が強く求められています。空知教育センターは、学校等の教育活動の充実に資するため、次の事業を実施します。

	事業内容
①	【継続】管内小中学校や教育研究関係団体の活動紹介
②	【新規】学校に専門的人材を派遣する「出前講座」の開設
③	【新規】ホームページ上※5のメニュー画面のリニューアルと研修・研究情報の拡充
④	【新規】教育図書の実用と資料活用の拡充



目標指標・・・∞・・・∞

項目	平成 28 年度実績	平成 33 年度目標
ホームページ閲覧者数の拡充	延べ 9,028 件 ※6	延べ 10,834 件



※5 空知教育センターホームページの紹介：URL <http://sorachi-ed.jp>

◇教育情報の迅速化と的確性を目指して、研修講座の講師・協力員・参加者の様子、公開授業の指導案の掲載、特色ある活動を実践している学校や教育研究団体の紹介など多彩な内容に取り組んでいます。

※6 ホームページの閲覧者数の平成 28 年度延べ 9,028 件については、平成 28 年 4 月から 9 月までの実績が延べ 4,514 件であったため、類推したものです。

4. 事業推進5か年計画全体構造図

◆事業推進の期間:平成29年度～平成33年度

○○○○事業推進テーマ○○○○○○○○○○○○○○○○

知識が知恵に変わるところ 空知教育センター

・ ・ 事業推進の基本方針 ・ ・

▶ 未来に輝き、活躍する子どもたちに「生きる力」を育ませるため、教職員がその達成に必要とする資質、能力を身に付け、さらにその向上を図るための研修活動、研究活動及び情報発信活動に重点を置いて、事業の推進に努めます。▶

◆事業推進の重点

重点1. 実践的指導力の向上に資する **研修活動**

重点2. 今日的な課題の解明と主体的に活動するリーダーの育成に資する **研究活動**

重点3. 教育活動の充実に資する **情報発信活動**

◆事業内容

重点事業	事業推進内容
研修活動	【継続】 専門職として高度な知識・技能の向上と実践的指導力の強化を目指す指導実技講座・ICT活用講座・教職教養講座・課題研究講座の実施 【新規】 教育界の先進的な研究・実践などに実績の高い人材を講師として招聘する「特別講座」の実施 【新規】 道内他地区研修センター講座、道内教育研究大会等への参加派遣
研究活動	【継続】 課題研究に係る授業公開講座の開催と研究成果の発信 【新規】 課題研究テーマの複数化による「課題研究委員会」活動の拡充 【新規】 課題研究協力員の道内教育研究大会等への参加派遣
情報発信活動	【継続】 管内小中学校や教育研究関係団体の活動紹介 【新規】 学校に専門的人材を派遣する「出前講座」の開設 【新規】 研修講座等の情報発信を迅速化するため、センターだよりの発行からホームページ上での発信に転換 【新規】 教育図書の充実と資料活用の拡充